

国語指導の手引き

本県の国語の授業の課題解決を目指して作成しています。



展開

指導の重点

指導のポイント

課題把握
見通し

児童生徒が課題に意欲をもって取り組めるように、めあてと見通しをもたせましょう。



- めあて（目標）は、「教材」「児童生徒の実態」「指導事項」を踏まえて設定する。
- 見通しは、学習の流れや課題解決の方法等を理解させる。

課題解決
交流

児童生徒がお互いの考えを交流できるように、自分の考えを書かせましょう。



- 自分の考えは、判断の根拠や理由を示しながら書かせる。

【根拠】 自分の考えを支える客観的な事実。例えば、文章や資料から自分の考えを述べる上で必要な情報（具体例、図表、データ等）を根拠として示す。

【理由】 その根拠で自分の考えをもつようになった理由。例えば、自分の体験、読書経験、既習内容などを基に理由を述べる。

まとめ
振り返り

児童生徒が学習をまとめることができるように、学習を振り返らせましょう。



- 振り返りは、学習したことを振り返り、できたことや分かったことを実感させる。
- まとめは、めあてと照らして行い、課題解決の方法や学習内容をまとめさせる。

授業の例(国語)

課題解決の方法や思考の過程、授業の展開が見える板書をしましょう。

・今日は、図表の役割や効果について分かったぞ。レポートを書くときに使ってみよう。



・こんな考えもあるのか。参考にしよう。



・この文を根拠に、自分の考えと理由を書いてみよう。



・今日は、図表の役割について学習するんだな。



・おもしろそうだな。どんな図表が必要かな。

まとめ

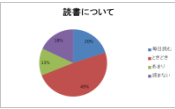
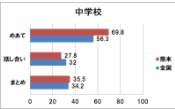
- 「折れ線グラフ」は、筆者の考えであるうなぎの漁獲量が年々減少していることを伝える上で効果的である。
- 筆者の考えの根拠となる部分(事例や事実など)に、図表が使っている。

交流

※各班の考え

- 一班 折れ線グラフ→筆者の考えの根拠として、漁獲量の推移が例示
- 二班 一覧表→うなぎ漁の説明
- 三班 折れ線グラフ→理科で温度の低下を示すのに使用→分かりやすい

図表(特徴)

- 円グラフ(全体に対する割合)
 
- 棒グラフ(量の違いの比較)
 
- 折れ線グラフ(時間の経過による変化)
- レーダーチャート(各要素のバランスが分かる)
- 一覧表(情報が整理されているので内容を捉えやすい)

解決方法

① 筆者が伝えたいことは?
 ・ 話題→キーワード、問題提起文
 ・ 筆者の考えとその根拠

② 伝えたい内容に応じた図表は?

めあて

文章中に使用されている図表の役割や効果について考えよう。

課題

うなぎは減っているのか(説明文) 熊本 太郎

名探偵!消えた図表を復元せよ。
 「筆者の考えを、分かりやすく伝えるには、どんな図表が必要だろう。」

まとめのポイントは?

・本時に学習したことをめあてと照らして振り返り、交流の内容等を活用してまとめる。必要に応じて、読書との関連を図る。

交流のポイントは?

・目的や条件にそって話し合いを行い、お互いの意見を整理して書き、共通点や相違点を比べやすくする。

解決方法のポイントは?

・解決の方法や使用する「学習用語」を示す。必要な情報を読み取る読み方、自分の考えの書き方・話し方等がある。

課題のポイントは?

・児童生徒の学ぶ意欲が喚起でき、問題意識を持たせることができるように、内容や表現を工夫する。